



031 障害者芸術・文化祭事業

障害者アート・シンポジウム

●開催日：令和5年11月19日(日)
●開催会場：金沢市アートホール

金沢 エリア
金沢市



実施状況

タレントのセイン・カミュさんをお迎えし、障害者アートの可能性を探り、考えるシンポジウムを開催しました。

基調講演では、セイン・カミュさんに、知的障害のある妹さんの創作活動をきっかけに、障害のあるアーティストの支援に積極的に取り組むこととなったご自身の経験などを語っていただきました。

続くパネルディスカッションでは、障害のある人の芸術活動を支援している県内外の4名をパネリストに、地域における先進的な取り組みを紹介いただいたほか、障害者アートの可能性について、意見を交わしていただきました。

参加者からは、「障害のある人の文化芸術活動をこれからも応援していきたい」という声をいただきました。

【出演者】

- <opening act>熊谷永子(フルート)、黒崎菜保子(ピアノ)
- <第1部 基調講演>セイン・カミュ(タレント、(一社)障がい者自立推進機構理事)
- <第2部 パネルディスカッション>
- コーディネーター：寺井剛敏(金沢美術工芸大学教授)
- パネリスト：国枝千晶(金沢アート工房代表)、菊義典(文化・芸術活動支援センターかけるセンター長)、新井博文((株)ヘラルボニーアカウント部門シニアマネージャー)、磯村歩((一社)シブヤフォント・(株)フクフクプラス共同代表)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

特別連携事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

032 加賀公演「新進気鋭実力派アーティストのステージ」

●開催日：令和5年10月3日(火)
●開催会場：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

加賀 エリア
小松市



実施状況

設立35周年を迎えたオーケストラ・アンサンブル金沢が、今注目のチェロ奏者の柴田花音さんと共演し、指揮の佐々木新平さんが躍動感あふれる音色を引き出しました。

日本初演となるファジル・サイのチェロ協奏曲「Never Give Up」など3曲を披露し、観客は新進気鋭の実力派によるステージに魅了されていました。

【プログラム】

- バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
- サイ：チェロ協奏曲「Never Give Up」
- ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調 作品60

【出演者】

- チェロ：柴田花音
- 指揮：佐々木新平
- 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

主催 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団

033

DRUM TAO 30周年「THE TAO 夢幻響」

- 開催日：令和5年10月7日(土)
- 開催会場：北國新聞赤羽ホール

金沢
エリア

金沢市



◆ 実施状況

和太鼓を主体に、篠笛、箏による演奏や殺陣などを取り入れた革新的なパフォーマンスで世界中の人を魅了する「DRUM TAO (ドラム・タオ)」の30周年記念の新作舞台を開催しました。

30年の歴史をたどる映像が放映された後、「山河燃ゆ」で幕開けし、「祝祭」では鮮やかな赤い着物を纏い、躍動感あふれる演奏を繰り上げました。

メンバーが客席に登場して演奏すると、観客はハイタッチや手拍子をするなど、リズムに乗って楽しみ、会場が一体となりました。観客からは、「太鼓と殺陣のパフォーマンスに圧倒された」などの声をいただきました。

主催

2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人北國芸術振興財団

034

映像の世紀コンサート

- 開催日：令和5年10月8日(日)
- 開催会場：石川県立音楽堂 コンサートホール

金沢
エリア

金沢市



◆ 実施状況

NHKで放送された「映像の世紀」から選りすぐった記録映像にあわせて、テーマ曲「パリは燃えているか」の作曲家加古隆さんの美しいピアノ演奏とオーケストラ・アンサンブル金沢の圧巻の生演奏によるコンサートを開催しました。

本公演は、オーケストラ・アンサンブル金沢のために編曲された室内オケ版の初演となり、スクリーン上に映し出された第1、第2次世界大戦、ヒトラーの台頭、冷戦やアポロ月面着陸など、歴史的な映像の数々に合わせた、岩村力さんの指揮による迫力ある演奏が、映像と一体となり、観客の心をひきつけました。

来場者からは、「今までに経験したことのないコンサートで感動した」との声が寄せられました。

【出演者】

音楽・ピアノ：加古隆

指揮：岩村力

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

ナレーション：山根基世

主催

2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団



特別連携事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

035 金沢落語まつり「立川志の輔独演会」

● 開催日：令和5年11月8日(水)
● 開催会場：北國新聞赤羽ホール

金沢エリア
金沢市

**◆ 実施状況**

富山県出身の落語家 立川志の輔さんを迎え、独演会を実施しました。テレビでも活躍する志の輔さんは、1席目の「親の顔」で、親子と学校の先生の3人による回答用紙に記された珍回答をめぐる軽妙なやりとりを、テンポよい巧みな話芸で語るなど、満員の会場は終始爆笑の渦に包まれ、大いに盛り上がりました。

【出演者】

立川志の輔、立川志の彦

【プログラム】

立川志の彦「湯屋番」

立川志の輔「親の顔」

仲入り(休憩15分)

立川志の輔「八五郎出世」



主催 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会

特別連携事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭

036 舞台「アカシアの雨が降る時」

● 開催日：令和5年11月11日(土)
● 開催会場：北國新聞赤羽ホール

金沢エリア
金沢市

**◆ 実施状況**

アルツハイマー型認知症を患う主人公の香寿美(竹下景子さん)と、息子の俊也(松村武さん)、孫の陸(鈴木福さん)の3世代の人物が紡ぐ、時と記憶を巡る家族の物語となる舞台を実施しました。

物語は、息子の医師の助言に従い、祖母の幻想を守りながら暮らし、家族の形を取り戻していく内容であり、竹下さんの染み入る歌声をはじめ、松村さん、鈴木さんによる迫真の演技は、来場者の心を打ち、来場者は感動の舞台にいつまでも浸っていました。

また、上演前には、舞台裏を見学するツアーも行われ、参加者の皆さんに、普段見ることのできない貴重な機会を楽しんでいただきました。

【出演者】竹下景子、鈴木福、松村武

【脚本・演出】鴻上尚史



主催 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人北國芸術振興財団

037

特別連携事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

能登公演「メンデルスゾーンの世界」

- 開催日：令和5年11月12日(日)
- 開催会場：七尾市文化ホール

能登
エリア

七尾市



◆実施状況

作曲家、指揮者として、第一線で活躍する青島広志さんが、ピアノを演奏しながら軽妙なトークでメンデルスゾーンの名曲を楽しく分かりやすく解説しました。

2022年9月に、オーケストラ・アンサンブル金沢のコンダクターに就任した松井慶太さんの指揮のもと、ヴァイオリンの高木凜々子さんが名器「ストラディバリウス」で伸びやかな旋律を奏で、聴衆を魅了しました。

【プログラム】

メンデルスゾーン：「夏の夜の夢」よりノクターン

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

メンデルスゾーン：歌の翼に ほか

【出演者】

案内・ピアノ：青島広志

ヴァイオリン：高木凜々子

指揮：松井慶太

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

主催

2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団

038

特別連携事業 / 2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭

ガルガン・アンサンブル「昭和・平成・令和とつなぐ名曲集」

- 開催日：令和5年11月16日(木)
- 開催会場：北國新聞赤羽ホール

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

北陸ゆかりの演奏家らが集結した管弦楽団「ガルガン・アンサンブル」と地元の声楽家らによる歌謡曲を中心としたコンサートを開催しました。特別ゲストとして歌手の岩崎宏美さんを迎え、満員の聴衆は昭和から令和までの名曲に聴き入りました。

【出演者】

歌手：岩崎宏美 指揮：大浦智弘

ソプラノ：直江学美、石川公美 メゾソプラノ：前澤歌穂

テノール：近藤洋平 バリトン：門田宇

管弦楽：ガルガン・アンサンブル

【プログラム】

<岩崎宏美>

ロマンス、太陽が笑ってる、思秋期、聖母(マドンナ)たちのララバイ

<地元の声楽家> ※メドレー形式

学生時代、高校三年生、白いブランコ、高原列車は行く、丘を越えて、君といつまでも、海 その愛、昂(すばる)、川の流れのように、愛の花、春よ 来い、世界に一つだけの花 ほか

主催

2023ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、一般財団法人石川県芸術文化協会、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団